

## 第2回港湾計画業務改善検討会 議事概要

日時:令和4年12月23日(金) 9:30~11:30

形式:ウェブ形式

○事務局より、前回検討会以降に行った港湾管理者へのアンケートの結果及びヒアリング結果、港湾計画業務改善策(案)について、資料に基づき説明が行われ、同改善策(案)は概ね了承された。

○その後の意見交換においては、構成員から主に以下の意見が述べられた。

○主な意見:

### 1) 財政面に関する意見

- ・国が港湾管理者の港湾計画策定業務に対して技術的な支援をする方針の明文化については非常にありがたいが、将来的な社会情勢の変化に柔軟に対応できる内容としてほしい。
- ・予算の確保、特に単独費の確保については大変苦慮しており、手厚くなるよう財政支援の在り方の検討についても、できるだけ前倒しでしっかり検討してもらいたい。
- ・港湾計画にかかるコストには、調査等の委託や時間、計画にかかわる職員も一つのコストである点も踏まえた上でのトータルのコストという意味で、業務改善したい。

### 2) 仕組みに関する意見

- ・作業手続きの見える化について、手戻りがなく、十分余裕を持った作業工程となるように検討を進めてほしい。
- ・目標年次の変更を改訂でなく一部変更において可能とすることや、一部変更の区分であっても内容によっては軽易な変更として対応できるよう考えてもらいたい。
- ・改訂作業の内容を大きな方向性とし、各港湾管理者が策定する長期構想的なものを改訂としてできないか。

### 3) 貨物量推計に関する意見

- ・貨物量推計にあたっての、我が国の港湾物流の貨物量の見通し、戦略的な目標設定について、今回のマニュアルを策定する段階で作っていただきたい。
- ・手続き期間の短縮を図るためにも、特に、ノウハウが不足している貨物量推計についての技術的支援が必要。
- ・貨物量については、計画通りっていない現状等も踏まえて、推計した貨物量を港湾計画に反映できるよう方法を検討してもらいたい。
- ・マニュアルの作成に当たっては各港湾の特色等を踏まえて柔軟に対応できるような方向で検討いただきたい。

### 4) 環境調査に関する意見

- ・マニュアル作成にあたり、調査項目や手法について必須内容や任意内容の整理、審査基準の簡略化に関しても明記するとともに、各港湾の特色等を踏まえて柔軟に対応できるような方向にってもらいたい。

#### 5) 業務の簡素化に関する意見

- ・中長期的な取り組みの中でも、業務の簡素化については、非常に重要と考えるため優先順位を高めできるだけ早く、検討を進めてもらいたい。
- ・長期構想や脱炭素化推進計画等と港湾計画の作業の重複感、簡素化の観点でみてもらいたい。
- ・他港の事例は非常に参考になるため、例えば各港湾管理者が公開しているリンクを集めるなど R4 年度中に早期に取り組んでもらいたい。
- ・類似の港湾計画の変更を簡易に検索できるような一覧表を作成してもらいたい。

#### 6) 人材確保・ノウハウの蓄積に関する意見

- ・職員のノウハウの蓄積や人材育成の面から、研修の持続的な実施することや、港湾計画の作成のあり方等踏み込んだ議論をする場がなかったため、国と港湾管理者の意見交換は重要と考えている。
  - ・国と港湾管理者との意見交換の会議の目的を明確にし、最終的に負担軽減になるように、港湾計画の作業の PDCA をしっかり回せるようにしてもらいたい。
- ・港湾計画作成ガイドラインの内容の充実や港湾計画変更の全国事例を QA としてまとめて、共有して頂きたい。
- ・国と港湾管理者の枠を超えて、関係者が連携して必要な技術をしっかりと継承していくという観点も考慮して進めていただきたい。
- ・各地方整備局等のブロックで、港湾管理者と各地方整備局等の港湾計画の担当者リストを作成し、自由に意見交換や相談をして良いという担当者リストという位置付けの下、運用してはどうか。

#### 7) その他

- ・業務委託の際の見積もりにはばらつきがあり、委託業務の標準的な歩掛があれば委託の発注手続きも簡素化、財政負担の軽減につながる。
- ・中長期的に継続して取り組む事項は、かなり盛沢山な内容になっており、できるものから先に進めていくよう検討してもらいたい。

以上